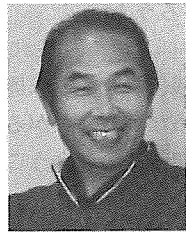


アラウンド GOGO 55



薄〜いネタですみません

河南 勝

風に長髪をなびかせていたあの頃がなつかしい。そう、あれは20代。

その後、子どもが生まれ子育てに忙しい日々、別居することになり、涙しながら悩んだ頃から確実に髪が抜けていったなあ。30代のはじめに調子にのって軽〜いパーマをあてたのが、抜け毛に拍車をかけたかなあ。

それからというものの、年々順調に薄くなっていき、もう今では鏡に映るのも、写真に写るのもいやになってしまっただけに薄くなったというか、

何というか、かんというか、みごとにあります。

生徒は実にシビアなもので、「ハゲおやじ」「おじいちゃん」「ハゲおっさん」「光ってる〜」などと容赦なしの言葉をいただく。

「先生に向かって何を〜！」と怒るようなことはしないものの、内心は穏やかではない、ふところの小ささ。

「そんな失礼なことを言ったらあかんよ」などとたしなめていたが、最近は、「薄くなったやろ〜」「すべるで〜」などと、こちらから言うよう

にしている。

生徒はそれでも腕にくっついてきたり、「カンナンチャー〜」などとベタベタしてきてくれるので、髪のことなんて、まあいいかなと思うようになってきた。ようやく……。

一昨年の4月に、幸いにも再婚することになり、奥さんからも「いっそツルツルに剃ったら〜」とか「ハゲのことがネタになっていいことやなあ、おいしいなあ〜」「ここで笑いとらいでどうすんの〜」などとほげまされている。再婚してからの私のことを、

周囲の人は「明るくなったねえ」「ハゲが増してますます光ってきたということもあり……」「幸せそうやなあ〜」などと言われる。そーなんか。確かに気持が軽くなったというか、自然体になってきたかなあと思う。そう、「一皮むけた」じゃない「一皮はげた」ってところでしょうか。

みなさんのハゲネタにはげまされ、「これからの人生も自然体で楽しんでいきたいもんやなあ」などと思う定年3年前の私です。

(兵庫支部事務局長・阪神養護学校)

*「アラウンド55(ゴ〜ゴ〜)」は50代をむかえた会員による介護や健康、人生設計などをテーマにした800字のエッセイコーナーです。